



図 7-17 ● 持続可能な開発目標 (SDGs)

(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/> この出版物の内容は国連によって承認されているものではなく、国連またはその当局者または加盟国の見解を反映していません。)

表 7-23 ● SDGs17 の目標

- 目標 1 貧困をなくそう**  
あらゆる場所の、あらゆる貧困に終止符を打つ
- 目標 2 飢餓をゼロに**  
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- 目標 3 すべての人に健康と福祉を**  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
- 目標 4 質の高い教育をみんなに**  
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう**  
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る
- 目標 6 安全な水とトイレを世界中に**  
すべての人に水と衛生へのアクセスと、持続可能な管理を確保する
- 目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに**  
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標 8 働きがいも 経済成長も**  
すべての人のための継続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する
- 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう**  
強靱なインフラを整備し、包摂的かつ持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
- 目標 10 人や国の不平等をなくそう**  
国内および国家間の格差を是正する
- 目標 11 住み続けられるまちづくりを**  
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
- 目標 12 つくる責任 つかう責任**  
持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 目標 13 気候変動に具体的な対策を**  
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を講じる
- 目標 14 海の豊かさを守ろう**  
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

表 7-23 ● つづき

- 目標 15 陸の豊かさを守ろう**  
陸域生態系の保護、回復および持続可能な利用の促進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および回復、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 目標 16 平和と公正をすべての人に**  
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 目標 17 パートナリーシップで目標を達成しよう**  
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

表 7-24 ● SDGs169 のターゲット (抜粋)

- i 目標 2「飢餓をゼロに」のターゲット (2.1~2.5, 2.a~2.c の 8 項目から抜粋)
- ターゲット 2.1 2030 年までに飢餓を撲滅し、すべての人々、とくに貧困層および幼児を含む脆弱な立場にある人々が、一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。
  - ターゲット 2.2 5 歳未満の子どもの発育阻害や消耗性疾患について、国際的に合意されたターゲットを 2025 年までに達成するなど、2030 年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦および高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。
- ii 目標 3「すべての人に健康と福祉を」のターゲット (3.1~3.9, 3.a~3.d の 13 項目から抜粋)
- ターゲット 3.a すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。

### 3 SDGs と栄養士・管理栄養士

栄養士・管理栄養士が専門職としてかかわるあらゆる形態の栄養不良をはじめとした課題、また栄養管理された食事の提供への取り組みなどは、SDGs における栄養や健康課題を対象とする「目標 2 飢餓をゼロに」および「目標 3 すべての人に健康と福祉を」をはじめ、17 目標のすべての達成に寄与し得る取り組みである。

近年減少していた世界の飢餓人口は、2014 年から増加の傾向を示すようになり、現在では世界人口の 9 人に 1 人が飢餓に直面している。一方では、すべての世代において過体重(肥満)者の増加が認められている。栄養士・管理栄養士による取り組みのターゲットには、飢餓や栄養欠乏だけでなく非感染性疾患の発症リスクとなる過体重や肥満など、あらゆる栄養不良の状態が含まれる。

栄養士・管理栄養士の SDGs への取り組みは、専門分野である健康・栄養関連課題を中心に、あらゆる年齢階級の人々の栄養状態の維持・改善を図り、健康の増進につなげることがスタートになる。さらに取り組みは、健康増進にとどめず産業、教育および労働などをはじめ、エネルギー、気候変動、環境保全など、さまざまな場面で展開される社会活動に、SDGs を理解した栄養の専門職として参画し、日々の職務を通して社会全体の良好な健康・栄養の創造に貢献するものでなければならない。